

# 実験実習機器センター

## 1 構 成 員

	平成18年3月31日現在
教授	0人
助教授	1人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	14人
その他（技術補佐員等）	3人
合 計	18人

## 2 教員の異動状況

青島 玲兒（助教授）（S59.5.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成17年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5編（4編）
そのインパクトファクターの合計	2.23
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	2編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0編（0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 村中祥悟，記野秀人，堀口弘子，針山孝彦：収束イオンビーム照射装置を応用した医動物の微細解剖，医学生物学電子顕微鏡技術学会誌，19(1)，77，2005.
2. 門畑一久，右藤文彦，村中祥悟：可動絞りを利用した走査電子顕微鏡マニピュレーターの試作，医学生物学電子顕微鏡技術学会誌，19(1)，75，2005.

3. 太田 勲, 村中祥悟, 三河須美子:加工アクアフィルムを用いた厚切り切片の包埋法, 医学生物学電子顕微鏡技術学会誌, 19(1), 82-83, 2005.
4. 熊切葉子, 山濱由美:カイク卵のTEM試料作製, 医学生物学電子顕微鏡技術学会誌, 19(1), 71, 2005.

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Fujigaki Y, Muranaka Y, Sun D, Goto T, Zhou H, Sakakima M, Fukasawa H, Yonemura K, Yamamoto T, Hishida A : Transient myofibroblast differentiation of interstitial fibroblastic cells relevant to tubular dilatation in uranyl acetate-induced acute renal failure in rats, Virchows Arch. in press, Virchows Arch,446, 164-176,2005.

インパクトファクターの小計 [2.23]

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Yoshinori Muranaka, Hideto Kino and Hiroko Horiguchi:Application of focused ion beam (FIB) apparatus for micro processing of the biological specimens on the scanning electron microscopy (SEM), Proceedings of 5th International Symposium on Electron Microscopy in Medicine and Biology, 48-49,2005.
2. Isao Ohta, Yoshinori Muranaka, Yasukatsu Nakano and Hiroshi Hayakawa; TEM observation of Chlamydia pneumoniae based on immune reactive granular structures in paraffin sections, Proceedings of 5th International Symposium on Electron Microscopy in Medicine and Biology, 5-6,2005

## 4 特許等の出願状況

	平成17年度
特許取得数 (出願中含む)	0件

## 5 医学研究費取得状況

	平成17年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 ( 0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 ( 0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 ( 0万円)
(4) 財団助成金	0件 ( 0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 ( 0万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0件 ( 0万円)

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	1件	1件
(3) 学会座長回数	1件	1件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	1件	1件
(6) 一般演題発表数	1件	

### (1) 国際学会等開催・参加

#### 1) 国際学会・会議等の開催

1. Yoshinori Muranaka, Scientific Organizing Committee, 5th International Symposium on Electron Microscopy in Medicine and Biology (Shijiazhuang, China) October 2005, 200人

#### 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Yoshinori Muranaka, Application of focused ion beam (FIB) apparatus for micro processing of the biological specimens on the scanning electron microscopy (SEM), 5th International Symposium on Electron Microscopy in Medicine and Biology, Shijiazhuang (China), October 2005

#### 4) 国際学会・会議等での座長

1. Yoshinori Muranaka, 5th International Symposium on Electron Microscopy in Medicine and Biology, Shijiazhuang (China), October 2005

#### 5) 一般発表

##### 口頭発表

1. Isao Ohta, Yoshinori Muranaka, Yasukatsu Nakano and Hiroshi Hayakawa, TEM observation of Chlamydia pneumoniae based on immune reactive granular structures in paraffin sections, 5th International Symposium on Electron Microscopy in Medicine and Biology, October 2005, Shijiazhuang, (China)

### (2) 国内学会の開催・参加

#### 3) シンポジウム発表

1. 村中祥悟：試料作製の工夫でチャージアップ軽減（生物編），日本顕微鏡学会第61回学術講演会

#### 4) 座長をした学会名

村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会第21回学術講演会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会 常務理事

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

## 9 共同研究の実施状況

	平成17年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

## 10 産学共同研究

	平成17年度
産学共同研究	0件

## 11 受賞

(3) 国内での受賞

太田 勲，医学生物学電子顕微鏡技術学会奨励賞，2005年5月